

兵庫県立丹波医療センター

外科

指導担当医（役職）

藤田 恒憲（副院長）、寺井 祥雄（外科部長）

実習概要

概要

外科主治医団の一員として4週間を過ごします。主治医団は指導医、外科専攻医、初期研修医からなり、ほぼ初期研修医と同様に行動します。当院の主治医団は臓器別ではないため4週間に経験する疾患は消化器一般の良性疾患から悪性疾患および乳腺疾患と多岐にわたっています。主治医団で朝夕の回診や術前および術後 I C、周術期管理を行います。毎日の回診から術後の病状変化を臨床推論し、主治医団でディスカッションしながら検査計画や治療計画を立案します。また、周術期管理において基本的臨床手技を経験し、術前症例検討会およびカルテ回診時には担当患者のプレゼンテーションを行います。

医療面接

毎日、朝と夕に主治医団で回診を行い、医療面接と身体診察を行いながら病状変化を観察し、臨床推論から検査計画や治療計画を立てます。

指導医の外来では初診患者の問診を行います。

身体診察

担当患者を毎日診察します。術後患者の身体診察を行い、周術期管理を学習します。

指導医の外来診察時に陪席し、問診を行った患者さんに対して身体診察を行います。

基本的臨床手技

主治医団の患者さんに対する基本的臨床手技を実習します。主治医団の手術は3-4例/週ありますので全例に手洗いし、手術に参加してもらいます。手術前に縫合・結紮の指導を行い、手洗いした手術では実際に縫合・結紮を実習します。また、腹腔鏡手術用のシミュレーターを用いて腹腔鏡下縫合結紮手技も実習してもらいます。

カルテ記載

毎日、担当患者の学生カルテを記載し、指導医が記載内容をチェックします。担当患者の手術については手術記録と病歴の要約を作成し、指導医が記載内容をチェックして指導します。

症例プレゼンテーション

毎週月曜日と水曜日朝の術前症例検討会では担当患者さんの術前プレゼンテーションを行います。また、毎週月曜日午後のカルテ回診では担当患者さんの術後経過報告を行います。

その他（特色など）

定期手術以外に緊急手術症例を経験したい場合は、救急外来等で緊急手術の必要な患者が発生した場合に連絡します。救急患者さんの場合は短時間で医療面接、身体診察から臨床推論し、検査計画から治療計画を立てる必要があります、非常に有用な外科臨床実習となります。

学生へのメッセージ

手術実習では担当患者さん以外の主治医団の全手術に参加してもらいます。見学ではなく実際に多くの手術に参加することで、より実践に即した外科知識や外科手技を経験することが出来ます。4週間、楽しくしっかりと外科の基礎を学んでください。